

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月2日

上場会社名 日機装株式会社
 コード番号 6376 URL <http://www.nikkiso.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 甲斐 敏彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営センター長 (氏名) 西脇 章
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 03-3443-3711

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	52,821	—	3,115	—	1,865	—	155	—
20年3月期第3四半期	49,840	11.5	3,706	34.8	3,890	18.4	2,807	35.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	2.43	—
20年3月期第3四半期	43.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
21年3月期第3四半期	84,641	—	36,852	—	42.9	—	580.23	
20年3月期	91,156	—	40,280	—	43.5	—	614.18	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 36,339百万円 20年3月期 39,689百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
21年3月期	—	6.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	0.6	4,000	△42.1	3,000	△52.9	1,000	△72.7	15.97

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 72,611,464株 20年3月期 72,611,464株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 9,980,819株 20年3月期 7,989,705株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 64,084,816株 20年3月期第3四半期 64,630,326株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間については、サブプライム問題に端を発した金融市場の混乱が世界的に景気後退を招き、また、円高の急速な進行並びに株価暴落もあり、当社グループの事業環境は一段と厳しさを増しております。

このような状況下、当第3四半期累計期間の受注高は52,102百万円、売上高は52,821百万円、営業利益は3,115百万円、経常利益は1,865百万円、及び四半期純利益は155百万円となりました。

(1) 売上高

円高持続による減収や、顧客業界の設備投資において景気後退に伴う延期や中止などの見直しが出はじめて一層の厳しさを増しておりますが、豊富な受注残高を抱えている流体技術カンパニーの売上が牽引し、売上高は52,821百万円となりました。

(2) 営業利益

原材料コストの高止まりや円高持続の状況下、値増し交渉とコスト低減の推進による利益の維持確保に努めており、営業利益は3,115百万円となりました。

(3) 経常利益

夏場以降、経済環境は一変し、米ドル相場は12月末時点で1ドル91円台の水準となり、また、ユーロ相場も昨年3月末の1ユーロ158円台から12月末には127円台の水準まで大幅に円高が進みました。この急速な円高に伴う為替差損1,211百万円が大きく影響して、経常利益は1,865百万円に留まりました。

(4) 四半期純利益

前期の第3四半期累計期間には関係会社株式の一部を譲渡した利益などの特別利益がありましたが、当第3四半期累計期間は一転して、株価暴落に伴う保有有価証券の減損処理1,726百万円の特別損失が大きく影響し、法人税等控除後の四半期純利益は155百万円となりました。

なお、この保有有価証券の減損処理は、四半期洗替え法を適用しております。

[事業の種類別セグメントの状況]

工業部門

< 流体技術カンパニー >

当第3四半期累計期間は、夏場以降の世界的な景気後退と急速な円高の進行で、主要顧客である石油、石油化学、液化天然ガス業界でのプロジェクトの延期或いは中止の動きが目立つようになり、当社グループの受注は減速傾向にあります。他方、売上は、急速な円高の影響を受けつつも、クライオジェニックポンプの製造・販売を予定どおり遂行し、前年同期の実績を上回ることができました。

当第3四半期累計期間の受注高は13,802百万円、売上高は15,483百万円となりました。

< インダストリアル・ソリューションズ・カンパニー >

当第3四半期累計期間は、深刻な経営環境にある国内外の電子部品関係業界が、設備投資を大幅に控えた影響を受け、主力製品のひとつである温水ラミネータは、受注、売上とも大幅に落ち込んでいます。また、第2四半期まで堅調に推移していた電力向け水質調整装置、並びに粉粒体の粒度分布測定装置についても急速な景気後退の影響により受注の伸びが鈍化しています。

当第3四半期累計期間の受注高は6,781百万円、売上高は6,146百万円となりました。

< 複合材カンパニー >

当第3四半期累計期間は、昨年9月に発生したボーイング社の労働組合によるストライキの影響やボーイング社製次世代民間航空機B787の開発スケジュールの更なる遅延により、出荷数量は当初の計画を下回りました。加えて、円高の進行が大きく影響して受注、売上高とも伸び悩みました。

当第3四半期累計期間の受注高は3,019百万円、売上高は3,026百万円となりました。

医療部門

< 医療機器カンパニー >

当第3四半期累計期間は、医療機関が診療報酬改定の影響による経営環境の悪化を反映して医療機器への設備投資に一段と慎重な様相を見せており、主力製品の人工透析装置の売上は、新規・買い替えとも伸び悩みました。他方、透析患者の増加を背景に、PEPA膜ダイアライザー、血液回路、および透析用剤などの透析関連消耗品の売上は、順調に伸ばしております。

当第3四半期累計期間の受注高は28,498百万円、売上高は28,165百万円となりました。

[所在地別セグメントの状況]

< 日本 >

国内は、景気後退の中、各業界とも設備投資の見直しや中断が目立つようになり、急速な円高の進行による減収、診療報酬改定による医療機関の経営への影響などもあり、売上高は 47,583 百万円、営業利益は 4,781 百万円となりました。

< アジア >

アジア地域では、台湾の水質調整装置を製造販売している子会社で利益面が厳しい状況であります。流体技術関係の販売子会社や医療機器関係の販売子会社の業績が好調に推移しており、売上高は 5,884 百万円、営業利益は 299 百万円となりました。

< 北アメリカ >

北アメリカ地域では、流体技術関係の子会社・粉体技術関係の子会社とも順調な業績を続けており、売上高は 2,706 百万円、営業利益は 266 百万円となりました。

< ヨーロッパ >

ヨーロッパ地域では、医療機器関係の販売子会社で売上債権に対する貸倒引当金の積み増しを主因に利益面が厳しく、売上高は 5,290 百万円計上しましたが、営業損失が 406 百万円となりました。

(注) 1. 所在地別セグメントの売上高は、当社グループ内取引において生じた売上高(総額 8,642 百万円)を含んでおります。

2. 所在地別セグメントの営業利益は、当社グループ内取引において生じた利益額(総額 1,825 百万円)を含んでおります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の資産合計は 84,641 百万円となり、前期末に比べて 6,515 百万円減少しております。流体機器工場の仕掛品増加を主因として棚卸資産が 2,252 百万円増加しておりますが、売上債権が回収などにより 5,459 百万円減少し、また、株価下落により投資有価証券が 1,755 百万円減少しております。

当第3四半期末の負債合計は 47,789 百万円となり、前期末に比べて 3,086 百万円減少しております。長期借入金の約定弁済による減少と運転資金のための短期借入金の増加で借入金全体では 1,473 百万円増加しておりますが、納税により未払法人税等が 1,591 百万円減少し、また、支払実行により仕入債務が 984 百万円、未払金が 901 百万円、それぞれ減少しております。

当第3四半期末の純資産合計は 36,852 百万円となり、前期末に比べて 3,428 百万円減少しております。自己株式の買増しなどにより株主資本が 1,975 百万円減少し、円高の進行と株価下落による評価換算差額等が 1,373 百万円減少しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

世界的な景気後退と急速な円高により、工業部門の顧客業界では設備投資の延期や中止など慎重な対応が目立つようになり、医療部門では診療報酬改定による病院経営への影響を受けて、当社グループの事業環境は一段と厳しくなることが想定されます。また、株価暴落による保有有価証券の減損処理が見込まれますので、通期の業績は平成 20 年 10 月 28 日付けで発表した予想数値を修正して次のとおり予想しております。

平成 21 年 3 月期 (通期) 連結業績予想				
売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1 株当たり当期 純利益 (円)
73,000	4,000	3,000	1,000	15.97

(注) 上記の予想数値は、現時点における入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、今後の様々な要因により、上記の予想数値と異なる結果となる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額の見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

3 固定資産の減価償却費の算定方法

当連結会計年度に係る年間償却見積額を期間按分する方法によっております。

4 経過勘定項目の算定方法

固定費的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少なものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

5 税金費用の計算

当社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益が4百万円、税金等調整前四半期純利益が74百万円それぞれ減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

3 連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ76百万円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5.【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,592	10,829
受取手形及び売掛金	23,278	28,738
商品及び製品	5,499	5,304
仕掛品	4,805	3,075
原材料及び貯蔵品	6,536	6,209
繰延税金資産	1,992	1,332
その他	2,613	1,163
貸倒引当金	592	151
流動資産合計	52,726	56,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,438	10,279
機械装置及び運搬具(純額)	3,653	3,950
土地	3,676	3,714
建設仮勘定	279	624
その他(純額)	1,621	1,944
有形固定資産合計	19,668	20,513
無形固定資産		
のれん	777	1,288
特許権	118	146
電話加入権	43	43
その他	651	507
無形固定資産合計	1,590	1,986
投資その他の資産		
投資有価証券	8,428	10,184
長期貸付金	42	49
繰延税金資産	261	36
破産更生債権等	17	17
前払年金費用	966	770
その他	982	1,112
貸倒引当金	42	16
投資その他の資産合計	10,655	12,154
固定資産合計	31,915	34,654
資産合計	84,641	91,156

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,124	11,109
短期借入金	9,729	7,342
1年内返済予定の長期借入金	2,103	1,840
未払金	1,997	2,898
未払消費税等	26	40
未払法人税等	129	1,720
未払費用	578	565
賞与引当金	885	1,812
役員賞与引当金	52	74
設備関係支払手形	20	142
その他	2,001	1,666
流動負債合計	27,649	29,212
固定負債		
社債	6,000	6,000
長期借入金	13,107	14,284
繰延税金負債	713	956
退職給付引当金	256	219
役員退職慰労引当金	51	191
長期預り保証金	11	11
その他	0	-
固定負債合計	20,140	21,663
負債合計	47,789	50,876
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,094	6,094
資本剰余金	10,266	10,272
利益剰余金	28,227	29,083
自己株式	8,272	7,158
株主資本合計	36,316	38,292
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	483	844
為替換算調整勘定	459	552
評価・換算差額等合計	23	1,397
少数株主持分	512	591
純資産合計	36,852	40,280
負債純資産合計	84,641	91,156

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	52,821
売上原価	36,970
売上総利益	15,851
販売費及び一般管理費	12,735
営業利益	3,115
営業外収益	
受取利息	48
受取配当金	194
持分法による投資利益	122
受取地代家賃	118
その他	338
営業外収益合計	822
営業外費用	
支払利息	465
為替差損	1,211
その他	394
営業外費用合計	2,072
経常利益	1,865
特別利益	
固定資産売却益	16
投資有価証券売却益	0
特別利益合計	17
特別損失	
固定資産除却損	139
固定資産売却損	5
投資有価証券評価損	1,726
たな卸資産評価損	69
ゴルフ会員権評価損	26
特別損失合計	1,967
税金等調整前四半期純損失()	84
法人税等	268
少数株主利益	27
四半期純利益	155

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失()	84
減価償却費	2,286
有形固定資産除却損	139
有形固定資産売却損益(は益)	11
投資有価証券売却損益(は益)	0
投資有価証券評価損益(は益)	1,726
ゴルフ会員権評価損	26
のれん償却額	185
持分法による投資損益(は益)	122
貸倒引当金の増減額(は減少)	477
前払年金費用の増減額(は増加)	195
退職給付引当金の増減額(は減少)	35
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	139
賞与引当金の増減額(は減少)	927
役員賞与引当金の増減額(は減少)	21
受取利息及び受取配当金	243
支払利息	465
為替差損益(は益)	244
売上債権の増減額(は増加)	4,581
たな卸資産の増減額(は増加)	2,730
仕入債務の増減額(は減少)	343
未払消費税等の増減額(は減少)	45
その他	596
小計	4,799
利息及び配当金の受取額	260
利息の支払額	367
法人税等の支払額	2,984
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,707
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	147
定期預金の払戻による収入	84
有形固定資産の取得による支出	2,935
有形固定資産の売却による収入	96
投資有価証券の取得による支出	937
投資有価証券の売却及び償還による収入	12
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による収入	2
短期貸付けによる支出	68
短期貸付金の回収による収入	162
長期貸付けによる支出	6

(単位:百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
長期貸付金の回収による収入	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,736
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	11,956
短期借入金の返済による支出	9,021
長期借入れによる収入	67
長期借入金の返済による支出	866
自己株式の取得による支出	1,120
配当金の支払額	770
財務活動によるキャッシュ・フロー	245
現金及び現金同等物に係る換算差額	577
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,360
現金及び現金同等物の期首残高	10,565
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,205

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	工業部門 (百万円)	医療部門 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	24,656	28,165	52,821		52,821
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	24,656	28,165	52,821		52,821
営業利益	2,598	2,489	5,087	(1,971)	3,115

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品

(工業部門)

<流体技術カンパニー>

制御容量ポンプ、キャンドモータポンプ、低温用サブマージドポンプ、コンプレッサ、自吸式スラリーポンプ、プランジャ式ハイパワーポンプ

<インダストリアルソリューションズカンパニー>

火力・原子力向試料採取装置、薬液注入装置、復水検塩装置、水質分析計、プロセス制御システム、工場排水処理装置、粒度分布測定装置、ゼータ電位測定装置、インライン粉体プロセス粒度測定装置、粉体ラボ用自動化システム、比表面積測定装置、冷間等方圧プレス、温水ラミネータ、ドライラミネータ、Itabar 流量計、産業用除湿機(ドライヤー)、アイソ・ボンダー

<複合材カンパニー>

炭素繊維強化樹脂(CFRP)成形品、マテライトコンポジット

(医療部門)

<医療機器カンパニー>

人工腎臓装置、透析用消耗品、透析用剤、人工臍臓、輸液ポンプ、透析排水PH処理装置、医療機器ポンプ、血液浄化用装置他

3 会計処理の方法の変更

(1) 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を適用しております。この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、工業部門が4百万円減少しております。

(2) 連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間から「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日実務対応報告第18号)を適用しております。この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、工業部門が73百万円、医療部門が2百万円減少しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	43,136	2,972	1,430	5,282	52,821		52,821
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,446	2,911	1,275	8	8,642	(8,642)	
計	47,583	5,884	2,706	5,290	61,464	(8,642)	52,821
営業利益又は営業損失()	4,781	299	266	406	4,941	(1,825)	3,115

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア : 中国、台湾、韓国、タイ、ベトナム

(2) 北アメリカ : アメリカ

(3) ヨーロッパ : ドイツ

3 会計処理の方法の変更

(1) 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日企業会計基準第9号)を適用しております。この結果、従来の方によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、日本が4百万円減少しております。

(2) 連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間から「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日実務対応報告第18号)を適用しております。この結果、従来の方によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、アジアが2百万円、北アメリカが73百万円減少しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	9,340	3,192	7,379	1,417	21,330
連結売上高(百万円)					52,821
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	17.7	6.0	14.0	2.7	40.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア : 中国、サウジアラビア、韓国他

(2) 北アメリカ : アメリカ他

(3) ヨーロッパ : ドイツ、ノルウェー、フランス他

(4) その他の地域 : チリ、ペルー、ブラジル他

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、平成20年8月4日開催の取締役会決議及び平成20年11月4日開催の取締役会決議に基づき市場買付けによる自己株式の取得を行いました。この影響により、同期間において、自己株式が1,111百万円増加しております。

【参考】

(要約) 前四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	
	金額(百万円)	
売上高		49,840
売上原価		34,211
売上総利益		15,628
販売費及び一般管理費		11,922
営業利益		3,706
営業外収益		
受取利息	41	
受取配当金	165	
持分法による投資利益	107	
受取地代家賃	109	
その他	212	636
営業外費用		
支払利息	248	
社債発行費	64	
たな卸資産処分損	53	
為替差損	70	
その他	14	452
経常利益		3,890
特別利益		
固定資産売却益	0	
投資有価証券売却益	882	
貸倒引当金戻入益	3	886
特別損失		
固定資産除却損	52	
固定資産売却損	0	52
税金等調整前四半期純利益		4,724
法人税、住民税及び事業税	1,929	
法人税等調整額		1,929
少数株主利益		13
四半期純利益		2,807

【参考】

(要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
区分	金額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	4,724
減価償却費	1,648
有形固定資産除却損	52
有形固定資産売却益	0
有形固定資産売却損	0
投資有価証券売却益	882
のれん償却額	101
持分法による投資損益(利益:)	107
貸倒引当金の増減額(減少:)	9
前払年金費用の増減額(減少:)	375
役員退職慰労引当金の増減額(減少:)	46
賞与引当金の増減額(減少:)	838
役員賞与引当金の増減額(減少:)	29
受取利息及び受取配当金	206
支払利息	248
為替差損益(差益:)	38
売上債権の増減額(増加:)	2,412
たな卸資産の増減額(増加:)	3,368
仕入債務の増減額(減少:)	64
未払消費税等の増減額(減少:)	66
その他	333
小計	3,563
利息及び配当金の受取額	528
利息の支払額	231
法人税等の支払額	2,066
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,793
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	5,281
定期預金の払出による収入	612
有形固定資産の取得による支出	2,331
有形固定資産の売却による収入	42
投資有価証券の取得による支出	2,440
投資有価証券の売却による収入	1,410
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	357
短期貸付けによる支出	261
短期貸付金の回収による収入	192
長期貸付けによる支出	9
長期貸付金の回収による収入	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,412
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	12,526
短期借入金の返済による支出	13,216
長期借入れによる収入	5,446
長期借入金の返済による支出	1,109
社債の発行による収入	6,000
自己株式の取得による支出	19
自己株式の売却による収入	2
配当金の支払額	775
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,853
現金及び現金同等物に係る換算差額	22
現金及び現金同等物の増減額(減少:)	2,212
現金及び現金同等物の期首残高	6,278
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	8,490

【参考】

セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)(単位:百万円)

	工業部門	医療部門	計	消去または 全社	連 結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	23,123	26,716	49,840		49,840
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高					
計	23,123	26,716	49,840		49,840
営業費用	20,289	23,904	44,194	1,939	46,133
営業利益	2,833	2,811	5,645	(1,939)	3,706

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	計	消去または 全社	連 結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	41,211	2,114	1,480	5,033	49,840		49,840
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	4,051	2,642	880	24	7,599	(7,599)	
計	45,263	4,757	2,360	5,057	57,440	(7,599)	49,840
営業費用	39,942	4,693	2,051	4,999	51,686	(5,553)	46,133
営業利益	5,321	64	308	58	5,753	(2,046)	3,706

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)(単位:百万円)

	ア ジ ア	北アメリカ	ヨーロッパ	その他の 地域	計
海外売上高	7,492	4,463	6,106	568	18,631
連結売上高					49,840
連結売上高に占める海外売上 高の割合(%)	15.0	9.0	12.3	1.1	37.4